



ふれあいネットワーク

いちのせき

社協
だより

第29号

[2013年11月29日発行]

ふるさとお茶っこ交流会で広がる笑顔

昨年4月から一関市社会福祉協議会が主催となり、東日本大震災被災者で市内各地域に点在して避難生活を送っている方々を対象に『ふるさとお茶っこ交流会』を開催しています。

10月18日には磐井川河川公園で、爽やかな秋晴れの下、一関市の秋の行事である「芋の子会」を行い、手作りの芋の子汁やおにぎりを味わいながら、語り合い交流を深めました。

「久しぶりに大勢で食事をしたので美味しく感じられた。気分転換になって、参加して良かったです。」「晴天の中、気持ちよく、皆様とご一緒に芋の子会に参加できて良かったです。」などの参加者の声をいただきました。

今後も季節行事を取り入れながら、お茶を飲みながらおしゃべりをし、参加した方々に笑顔を増やしていただきたく、継続的な交流会の開催を計画しています。

支え合い 幸せを感じる 地域の暮らし

—「ゆいっこ広場 in 大東」—

社協ふくし祭「ゆいっこ広場 in 大東」が、九月一日(日)、大東保健センターを会場に開催しました。

～みんなが主役 ゆいっこ広場～のテーマのもとに、約千百人の市民が集い、世代や障がいを超えて共に暮らす地域づくりを目指し、地域の特性を生かしたイベントになりました。

ステージでは、各地区福祉推進協議会、ボランティア協力校、陸前高田市仮設住宅の住民サークルの皆さんによる発表が行われ、会場を盛り上げました。

昔遊び体験、昔なつかしいおやつ作り体験などの体験コーナーや非常食炊き出し、福祉施設の出店、焼きそばなどの屋台コーナーには多くの来場者が列を作り、売り切れになる品物が出るほどの盛況でした。

陸前高田市復興応援コーナーでは、復興しようゆめ、復興グッズの販売が行われ多くの皆さんが購入していました。

一関市歯科医師会、ひがしいわいおもちゃ病院連絡協議会、など幅広い協力団体の協力をいただき、会場いっぱい笑顔が溢れる祭りとなりました。



開 会 式



大東高校獅子踊り



オープニング ドリームキッツの皆さん



根っこの会によるもちつき

支部通信

一関支部

じどうかんまつり ～真滝児童館～

十月十九日(土)、真滝児童館と農村センターを会場に開催した「じどうかんまつり」。当日は気持ちの良い秋晴れで、児童館を利用しての児童はもちろん、地域の方々や未就学児、その保護者など約二五〇人の来場者となり、盛大に開催することができました。

オープニングセレモニーとして地域のコーラスグループ「滝姫」による歌の披露がありました。誰もが聞いたことのある、季節にぴったりの歌を披露し、まつりのスタートを盛り上げました。

さて、毎年恒例となりました『すいとんお振舞い』。地域のおばあちゃん達による手作りの味を楽しみに来場する方も多くいらっしゃいます。『おいしい』『温まるね』とお腹も気持ちも満たされてい



たようです。おいしい出店やおもちゃつりコーナーのほか、児童館に関するクイズが隠されたウォークラリーも楽しめました。また、練習を重ねたダンスの披露もあり、かわいらしい衣装を身にまとった子ども達が元気に踊りました。たくさん笑顔を楽しい声が響いた、このおまつり。来年は皆さんも是非遊びにいらしてくださいね。

花泉支部

ふれあい交流会「温泉の会」

十月十八日(金)矢びつ温泉瑞泉閣を会場に、「ふれあい交流会「温泉の会」」を開催しました。この会は地域で一人暮らしをしている高齢者の親睦交流を目的に毎年秋頃開催しています。

今回は総勢四十七人が参加し、講話「入浴前の心得について」、入浴、会食、健康体操、懇談という内容で行いました。民生委員さんには事前の参加呼びかけから当日の世話人までお手伝いいただき、身近な相談役として交流の輪に入っていただきました。

温泉につかってリフレッシュし、健康体操では家庭でも気軽にできる、運動不足予防の体操を学びました。また懇談の時間には、芸達者なみなさんの歌や踊りの発表会となり、笑顔の絶えない時間となりました。ここで出会った皆さんの仲間づくり、ネットワークが、普段の生活で役立ちますように。

また来年も、皆さんの元気な姿にお会いできることを楽しみに、企画したいと思います。



大東支部

互いの再会が元氣のもと

～コスモス秋桜のつどい～

大東支部では、十一月二十一日と二十二日の両日に渡り、大東地域の七十歳以上の方々を対象に、ひとり暮らし高齢者のつどい(秋桜のつどい)を開催しました。合併前より続けてきたこのつどいは今年で二十四回目を迎え、百八十名余りの方が参加しました。

今回の話し語りの時間では、「近所の人が様子を見てきて声を掛けてくれて嬉しい。」「ひとり暮らし同士で買い物に出かける事が楽しい。」などの話が出ました。

余興では、宮城県栗原市を拠点として幅広く活動している「遠藤じろう一座」を招き、民謡や股旅舞踊などで会場を魅了しました。

また、高齢者総合相談センターしぶたみの職員が、食事前の口腔体操や寸劇で悪徳商法への対応方法を呼び掛けました。

参加者からは、「困りごとの相談機関がわかってよかった。」「毎年、このつどいを楽しみにしている。来年もまた参加できるよう元気で暮らしたい。」など、互いの再会を喜んでいたつどいとなりました。



千厩支部

「千厩サロン祭り」

月日 平成二十五年十月二十四日(木)
場所 千厩農村勤労福祉センター
参加者 五百五十名
講話

①「今振り返る千厩の近代史」

講師・菅原良太さん(二関市文化財調査員)

②「歌って 笑って 体を動かそう」

講師・藤野恵美さん(健康運動指導士)

秋のイチョウを思わせる黄色の緞帳(どんちよう)が上がり、来賓約三十名のコーラス発表で始まった「千厩サロン祭り」は、今年も大勢の皆さんが参加して楽しい交流を繰り広げました。講師の

東山支部

おっと！転ばん塾

～二次予防事業～



先生方による講話やサロン利用者の皆さんが作った作品の展示・販売、サロンで実践している健康づくりのための体操や踊り、コーラス等のステージ発表を行いました。

は初めて、食生活改善推進協千厩支部が会員手作りの体に優しいおやつ「がんずき」「クッキー」を販売したところ、試食はもちろん袋とバックに詰められたおやつも即、完売という状態でした。皆さん健康に心配りしているんですね。

ステージへの特別出演として、千厩の名湯・たまご湯がある小梨十区のお父さん達の劇団「ひまなすたす」による演劇「たまご湯物語」は、キャストに支所保健福祉課職員の皆さんも加わって、会場を大笑いの渦に巻き込みながら、観ているみんなを楽しませてくれました。健康のために笑いも必要ですね。

フラダンスの出演もあり「本当にハワイから来たの？」と聞いた方もいる程です。

気軽に・無理なく・楽しく、高齢者の皆さん、地域のふれあいサロンで楽しみましょう。



東山支部では、市の委託を受け、二次予防事業「おっと！転ばん塾」を開講。九月から十二月までの全十二回（毎週一回開催）のカリキュラムを組んで実施しております。それぞれの地域で自立した生きがいのある日常生活を送れるよう健康運動指導士、保健師の指導のもとすすめております。初回と最終回の体力テストで効果を数値的にもわかる様にします。

参加者は、八人と少人数ですが、その分細やかな健康指導が



出ておき、毎回大きな笑い声が聞こえる楽しい塾になつていきます。参加者の皆さんからは、「楽しくて楽しくて小学校に行つていくようだ」とか「足腰の痛みが和らいだ」との声があります。家での宿題もみんな欠かさずこなしており、成果が大いに期待できそうです。最終日の体力テストが楽しみです。

室根支部

笑顔あふれる

住みよい地域をめざして

「むろね・社協ふくし交流まつり」



去る十月六日(日)、「むろね・社協ふくし交流まつり」を、室根保健センターで会場に開催しました。

「出会い・ふれあい・笑顔いっぱい」のテーマのもとに約三百人の市民が集い、交流を通じて市民みんなが共に明るく笑顔で暮らせる住みよい地域社会づくりをめざして気持ちを新たにしました。開会セレモニーでは、折壁保育園児がかわいらしい鼓隊を披露。引き続き、ふくし標語・川柳コンクール表彰、紙芝居ポランティアによる紙芝居披露が行われ、東洋大学の佐藤征夫名誉教授による記念講話では、高齢者も簡単に取り組める健

川崎支部

～やまびこ教室で障がい者の交流～

康体操の紹介もあり、会場の皆さんは熱心に聞き入っておられました。他、「梅寿会」さんによる舞踊、創作太鼓「鼓」さんの太鼓演奏、大道芸「TAKEN」さんの妙技とトークショーに、観客は大いに魅了され会場はたいへん盛り上がりを見せました。

赤十字奉仕団のすいとん汁提供も好評で、ちびっこ広場、各種作品展示、特産品販売コーナーも大いに賑わい、幅広い協力団体の連携協力のもと、誰もが心豊かに暮らせる「福祉のまちづくり」を推進するための市民交流を深められた楽しい一日となりました。

九月二十五日奥州市胆沢区のみめかゆ温泉を会場に、川崎町手をつなぐ育成会とかわさき虹の会との共催で、やまびこ教室を開催しました。



が参加しました。

天候にも恵まれて、車窓からは雄大な胆沢ダムを眺めながら、あまりの巨大さに「あるぐのやんだあ」と車中での見学をし、ひめかゆ温泉到着、ひめかゆ温泉では名物の「金箔入りじゅうね餅」に舌づつみをうち、お腹を満たして、歌ったり踊ったりと、十八番を繰り出して楽しみました。



やまびこ教室を楽しみにしている会員も多く、温泉に入りリラックスした時間を過ごしなが、会話も弾み交流が深まった屋外レクリエーションでした。

藤沢支部

十九組のカップルを祝福

「金婚を祝う会」

十一月二十日に開催した「第十七回藤沢町金婚を祝う会」には、今年金婚を迎えた夫妻四十二組のうち十九組が参加し、一関市長（藤沢支所長代理出席）、藤沢地域福祉団体の長、同地域選出市議会議員、民生児童委員、福祉委員（行政區長）、社会福祉協議会理事など七十三人が出席して金婚カップルを祝いました。

挨拶に立った佐々木宏朋理事は、「今日

の発展は、皆さんの努力の成果です。これからも健康で夫婦そろって活躍をお願いします」と述べました。

続いて、記念品として社会福祉協議会から、当日撮影した夫妻の写真と集合写真をアルバムにしたものの目録と、紅白のおしどり餅を贈りました。来賓から祝辞をいただいたあと、当祝者を代表して挨拶をした星幸一さん・征子さん夫妻（徳田字平田）は、「夫婦そろって金婚を迎えることができて感無量です。皆さんと共に歩んだ五十年間に感謝します。これからもよろしく願います。」と喜びの言葉を述べました。

乾杯のあとは祝謡祝舞と続き、「花沢会」の皆さんによる踊り、参加された方々による歌などで楽しみながら懇親を深め、終始和やかな雰囲気の中、金婚を迎えられた方々を祝福しました。



地域活動団体紹介

被災者で作る「ひまつぶ詩カフェ」

千厩地域

ひまつぶ詩カフェは、二十五年四月から「縁あって千厩に居住した人たちが、楽しく過ごせる居場所の確保とコミュニティづくり」を目的に、被災者の有志数名が千厩支所の支援を受けて立ち上げました。場所は、千厩町の町中にある「一関市民活動センター」せん

などが大盛況で、会員の達成感に繋がりが、次への目標にもなりました。今後も元氣のする旅行や活動を企画しながら、気軽に入りやすいコミュニティを構築し、地域との交流も広がっていくと思います。

まやサテライト」を利用し、毎週水曜日午前十時～午後三時まで活動しています。

活動内容は今のところ主に手芸で、作品はペーパークラフトのかごバックや七宝まり、紙プローチなど多彩です。赤い羽根「住民支え合い活動助成」をいただいてバス旅行を三回行い、カフェのPRとともに被災者同士の繋がりがも強めています。

旅行企画は会員が主体となり、花泉ぼたん園・館ヶ森ラベンダー祭り・気仙沼大島観光など、述べ八十名近くの参加がありました。

秋には、千厩支部主催の「サロン祭り」にも初めて参加し、作品の展示や即売会



赤い羽根共同募金による助成事業助成団体紹介

- ◎ 赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金助成事業「住民支え合い活動助成」(東日本大震災による被災者支援のために、つながりやネットワークの強化、被災地域のコミュニティ再興に取り組む住民団体やボランティアグループ、NPO法人等(住民5人以上で構成されている非営利団体)への活動支援)

11月30日現在

- ・関が丘第二雇用促進自治会(一関地域) 99,000円
- ・千厩町沿岸被災者を守る会(千厩地域) 100,000円
- ・ひまつぶ詩カフェ(千厩地域) 100,000円

第9回12月20日、第10回1月20日、第11回2月20日締切で助成金の申請を受け付けております。助成申請に関する要綱、様式等は、本会のホームページまたは、岩手県共同募金会のホームページ(<http://www.akaihane-iwate.or.jp>)をご覧ください。社会福祉協議会各支部にお問い合わせ願います。

一関市教育委員会が開いたボランティアスクールで学んだ主婦が会を発足させたのが一九七九年であり、現在の会員は三十九人ですが、活動に加わったのは延べ百七十一人に上ります。十三の活動グループがあり、それぞれが得意分野を生かして福祉施設などで手芸や習字を教えています。施設入所者から「また来てほしい」と言わ



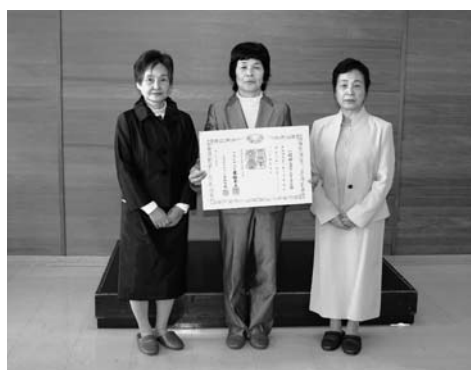
二〇一三年の秋の褒章が発表され、社会奉仕活動に従事した人を称える「緑綬褒章」に、県内で唯一の団体として、長年にわたる介護施設などへの訪問活動が高く評価された、一関婦人ボランティアの会が受章されました。

一関婦人ボランティアの会が 緑綬褒章を受章されました

れるのが何よりうれしいと会員の皆さんは話しています。

発足当初は四十代が多かったメンバーも、高齢化して六十代が中心になっています。活動を続けるコツは無理しないで、できる範囲で続けることだと話しています。また、仲間がいるのが楽しみです。

現在、一関婦人ボランティアの会会長として会をまとめている須藤信子さんは「褒章受章の連絡にはじめは驚きましたが、会員と共に今は喜びをかみしめています。歴代の会長や先輩の方々が活動を続け、指導してくれたからこそ今回の緑綬褒章をいただけたと思っています」と話しています。



“支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし”

生活支援相談員のご案内



一関市社会福祉協議会では、平成二十四年度から生活支援相談員を設置し、東日本大震災で被災し避難をされているご家庭の訪問、沿岸避難者等の交流事業としての『ふるさとお茶っこ交流会』を開催し、交流の場づくりを行っています。「寄り添い、一緒に歩いて行こう」を行動目標に、二名の生活支援相談員が被災者相談支援を行っております。

・問合せ先：二三一六〇二〇

生活支援相談員 平野・菊地

・相談時間：午前九時～午後五時

(土・日・祝日はお休みです)

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方を対象にした『在宅介護者の集い』は十一月十七日(日)十八日(月)の二泊二日、岩手県西和賀町「巣郷温泉静山荘」で開催しました。今回は介護者十八名が参加し、温泉入浴や懇親、レクリエーションを通してリフレッシュしながら交流を深めました。

開会後に行ったレクリエーションでは、参加者それぞれ今の自分の気持ちを色に例えて話していただきました。「黄色」妻が結婚の時に着てきた服の色で妻の好きな色。今は病気で倒れてしまったが私も好きな色。「水色」明るい結婚生活だった。夫が脳梗塞で倒れた後もそうであり続けた。「山吹色」母が病気で

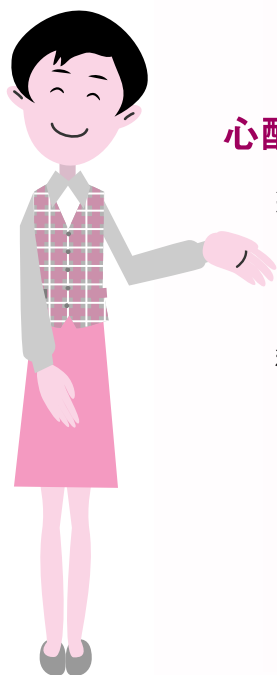


倒れ車椅子生活に。最初は大変だったが最近では安定して、希望が芽生えている。等々、大変であろう介護生活の中でも希望を持ち、強い信念で過ごされている様子はお互いに励みとなったようです。

その後の入浴や懇親を通じてさらに交流を深め、次回の二月開催が楽しみ「参加させるために、ばあさんを長生きさせない」「初めて参加したけど楽しかった」等のありがたいお声をいただきました。行きは緊張のためか静かだったバスの中も、帰りには笑顔があり会話ははずみ、参加された皆さんは心身のリフレッシュが出来たようでした。

心配ごと相談所

心配ごと相談所は、皆さんの身近な心配ごとと悩みごとの相談に対して住民の立場に立って問題解決の協力・援助を行います。個人情報の保護に留意するため専任の相談員が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。なお、相談料は無料です。



心配ごと相談所開設日

通常相談

日時 : 毎週木曜日 午前10時から午後3時
場所 : 一関市総合福祉センター (0191-23-6020)

移動相談 (移動相談は事前予約が必要です。)

日時 : 毎月第2金曜日 午前10時から午後3時
場所 : 花泉総合福祉センター (予約先: 社協花泉支部 0191-82-4002)
 大東保健センター (予約先: 社協大東支部 0191-71-1177)
 千厩農村勤労福祉センター (予約先: 社協千厩支部 0191-53-2885)
 社協藤沢支部相談室 (予約先: 社協藤沢支部 0191-63-5122)

まごころ寄附

平成25年9月から平成25年10月末までに、市民の皆様からご寄附がありました。

花泉支部

花泉字深井沢	菅 原 みはる 様 タオル600枚・バスタオル120枚 風呂敷500枚	
金沢字袖ノ目	阿 部 郁 夫 様	50,000円
涌津字上吉田	鵜 浦 隆 司 様	100,000円
花泉字町	高 橋 貞 雄 様	タオル80枚

大東支部

鳥海字新田	村 上 勉 様	50,000円
摺沢字上羽根折沢	牧 野 行 男 様	50,000円
猿沢字小向	首 藤 正 昭 様	100,000円
沖田字大平	金 野 桂 子 様	30,000円
猿沢字山崎	千 葉 みき子 様	50,000円
中川字篠ヶ崎	及 川 扶二男 様	50,000円
鳥海字向前畑	伊 東 征 久 様	50,000円
猿沢字本木	金 野 喜 一 様	

鳥海字前畑	伊 東 幸 男 様	50,000円
沖田字本宿	沖田社交ダンスサークルサイトビー 代表 佐藤 秀子 様	5,000円

大東町	大東芸術文化協会摺沢支部 支部長 小原 松一 様	50,000円
-----	-----------------------------	---------

大原字角明沢	岩 渕 ユリ子 様 毛布・タオルケット等24枚	
--------	----------------------------	--

大原字堰ノ上	熊 谷 勇 雄 様	50,000円
浅民字館下	鳥 畑 治 様	50,000円
	匿 名 尿とりパッド80枚	

千厩支部

奥玉字八幡前	藤 野 清 貴 様	100,000円
千厩町	4団体親睦交流ソフトボール大会 様	27,233円
千厩字構井田	鈴 木 一 子 様	30,000円
千厩字鳥羽	小野寺 儀 修 様	100,000円
千厩町	ソシアルダンスサークル84 様	12,000円
奥玉字刈屋野	及 川 恭 子 様	100,000円
千厩字構井田	佐 藤 学 様	100,000円

東山支部

長坂字町	げいび奉賛会 代表 浅利 幸 様	30,000円
長坂字町	鈴 木 信 彦 様	100,000円
松川字六日町	伊 藤 輝 夫 様	100,000円
長坂字館合	菅 野 英 雄 様	200,000円
田河津字石ノ森	高金石ノ森自治会 山神社奉納演芸会実行委員会 委員長 岩渕 松雄 様	20,000円
	匿 名	30,000円

室根支部

矢越字射勢沢	昆 野 光 男 様	30,000円
矢越字東楽	菅 原 秀 子 様	30,000円
折壁字兵沢	西 城 直 彦 様	50,000円

川崎支部

薄衣字泉館	今 野 正 喜 様	100,000円
-------	-----------	----------

藤沢支部

徳田字萱刈場	畠 山 輝 男 様	100,000円
藤沢町	藤沢町民生児童委員OB会 様	4,931円
黄海字本沢	千 葉 隆 一 様	100,000円



まごころ寄附の使いみち

皆様から頂いた、まごころ寄附は、「小地域福祉推進事業（地区福祉活動推進協議会等への助成）」「ふれあいサロンへの助成」「ボランティア事業」など地域福祉を推進するための貴重な財源となっております。

11月 在宅介護者リフレッシュ事業
10月～11月 一人暮らし高齢者の集い事業
12月 社協だよりの発行

の事業費の一部に使われます。

運転ボランティア募集

福祉協議会では、在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に、医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行う事業を、市から委託を受け実施しておりますが、運転ボランティアが不足しております。

そこで、運転ボランティアにご協力いただける方を募集しております。皆様の「たすけあいの気持ち」を地域福祉充実のためにお貸しください。資格は、普通免許1種以上で直近の3年間に違反、事故を起こしたことが無く、運転免許停止処分を受けていない方です。1種の方は、自動車学校で1日の講習を受講していただきます。

申込・お問い合わせは、社会福祉協議会各支部まで。

一関 23-6020 花泉 82-4002 大東 71-1177 千厩 53-2885
東山 47-3238 室根 64-3983 川崎 43-4323

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail: info@ichinoseki-shakyo.com